



カラスの被害と対策

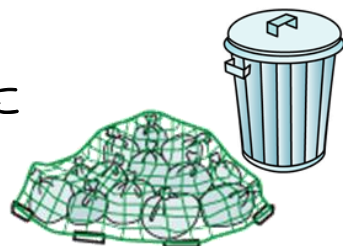
カラスは、視覚によりえさを探します。食べるものが出される場所を記憶し、常習的にねらうようです。例えば、ネットの上からくちばしでゴミをついばまれてしまう、カラスがゴミ袋を引き出してゴミが散乱してしまうなどの被害があります。

カラスにゴミを食べられないようにするには、野菜くずや食べ残しなどの生ゴミを減らすことです。ゴミの出し方を工夫することも大切です。

【対策】

- ・カラスは視覚でえさを探すので、紙で包むなど中身がみえないようにする。
- ・防鳥ネット、ふた付きの容器に入れる。
- ・決められた時間までにごみを出す。

すでに、防鳥ネットを使用している場合は、「ゴミがネットからはみ出さないようにする」「カラスにネットを持ち上げられないよう、おもりなどをつける」などの工夫が必要です。



ゴミ出しのルールを守り「決められたもの」を「決められた日」に「決められた場所」へ「決められた方法」で出すことが重要です。

集合住宅向けに防鳥ネットを貸し出しています。

市では、集合住宅の集積場所を対象とした防鳥ネットの貸し出しを行っております。総合リサイクルセンターに、直接お越しください。

ネットは、筒形で口紐により上部が開閉し、下部裾周りにチェーンの重りがついて、強風などによる飛び散りも防止します。ゴミ袋収納目安としては40ℓ約10～12袋相当になります。

お問い合わせは・・・ ゴミ対策課 電話 531-5518

家庭ゴミ指定収集袋の品薄状態について

日頃より市の清掃行政にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

家庭ゴミの指定収集袋の品薄状態が続いており、市民のみなさんには大変ご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。

1日でも早く「指定収集袋取扱店」で「指定収集袋」の全種類のサイズが並ぶよう、増産に努めております。ご理解とご協力をお願いいたします。



みんなで減らそう 燃やせるごみ減量50%!

立川市
総合リサイクルセンターより

西砂からの風

2014年2月・3月号
(第21号)

発行/立川市ごみ減量推進課

ご存知ですか?

ボランティア袋制度

自治会等の各種団体又は個人がボランティア活動として公共施設等を清掃した際、無料でゴミを出すことができるよう、ボランティア袋を交付する制度です。ボランティア袋は「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ等」の2種類です。

交付を受けるためには団体又は個人にて事前に登録をしていただく必要があります。

注意 ※落ち葉や雑草等は無料で収集できますので、45ℓまでの透明または半透明の袋で出すことができます。
※ボランティア袋は地域のお祭り等のイベントで出たゴミを入れることはできません。

ボランティア袋制度申請書配布場所・提出先

名称	所在地	名称	所在地
環境対策課	泉町 1156-9 市役所2階	砂川学習館	砂川町 1-52-7
ゴミ対策課	西砂町 4-77-1 総合リサイクルセンター3階	西砂学習館	西砂町 6-12-10
清掃事務所	若葉町 4-11-9 清掃工場3階	高松学習館	高松町 3-22-5
生涯学習推進センター	曙町 2-36-2 ファール立川センタースクエアビル3階	幸学習館	幸町 2-1-3
柴崎学習館	柴崎町 1-1-43	錦学習館	錦町 3-12-25

ゴミ出し支援事業

集合住宅の上層階等にお住まいで、下記の条件に該当し、ゴミ出しが困難なひとり暮らしの方等を対象に、ゴミ出しの支援をする事業です。住居の入口前からゴミの排出場所までゴミ出しの支援をおこない、併せて声掛けなどで安否確認もおこないます。

- ①要介護状態区分が要介護3から要介護5までのいずれかである方のみで構成される世帯
- ②身体障害者手帳の程度が1級又は2級である方のみで構成される世帯
- ③精神障害者手帳の程度が1級である方のみで構成される世帯

ゴミ出し支援事業申請書配布場所・提出先

立川市役所（環境対策課・障害福祉課・介護保険課・高齢福祉課）
総合リサイクルセンター（ゴミ対策課）

制度や事業に関するお問い合わせ
ゴミ対策課 電話 531-5518